

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2020. 7. 15***☆

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

定年制度に憂う

発行者：牧野 F P 事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 404 号***☆

<第 404 号の目次>

■ 今週のテーマ

定年制度に憂う

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

定年制度に憂う

*:**

私の同世代の方は、
現在、勤務先の 60 歳の定年を迎えて、

その後、その勤務先に再雇用された方。
起業された方。
特に何も収入を得ることはすることなく、
悠々自適に生活(ご自身の見解)を始める方。

まさに、人生のターニングポイントにいることは、
確かなことです。

そこで今回は、

その後の人生を送るために、
この時期を、
どのように位置づけたら良いのか？

考えてみたいと思います。

人生は自分で決めるもの

ご自身や配偶者が定年を迎える方や、
迎えた後に、
私のところに相談にみえるその内容は、

主に2つに分けることができます。

- ・ これからの生活は大丈夫だろうか？
- ・ 定年後、こんな生活をしたいけど家計的には問題ないか？

前者は、
まだ定年後ご自身の生活を決めていない方。
または、複数の候補は考えているけど、
具体的には決めかねている方。

取りあえず、今までの勤め先に再雇用してもらい、
その間に決めようか。
というお考えで、みえる方もこちらに入ります。

後者は、
定年後に起業するなど、
進路は決めているが、
長年の夢を実現するに当たり
家計的には問題ないか、
生涯生活は成り立っていくのか、
確認したい方。

とも分けることができます。

前者の方の中には、
学校卒業後、数十年間に渡り組織の中で、
勤め挙げてきた方にとって、

自分が思うように生きていくことは、
一種のわがままを言っているように感じて、
自我を主張することは、
遠慮する習慣も身につけている方にも思えるのです。

結論から申し上げて、

ご自身の人生ですので、
ご自身のことは、自分で
決めれば良いのです。

もっと言えば、
定年退職の年齢も自分で決めればよいのです。

とはいっても、
無計画に過ごしては、
それこそ、家計が破たんしかねません。

定年を迎える前に、
定年後の生活を想定して、
準備をしておくことも必要です。

なぜ、事前に定年後の準備が必要なのか

ところで、人の助けを必要することなく、
自分で日常のことができる、
「健康寿命」は、
厚生労働省の発表の、
2016 年の健康寿命は、
男性 72.14 歳、女性 74.79 歳です。

この年齢までは、
働いて収入を得ることも可能です。

ただ、60 歳になってから、
また、定年後再雇用期間を過ぎてから、

健康寿命まで働くには、
その期間は、短すぎる様にも思えます。

人それぞれ考えをお持ちですが、

定年、仕事を辞める年齢は、

何も勤務先が決めた、
60歳にこだわることなく、
ご自身で決めればよいのです。

言葉の響きは、ともかく、
早期退職をして、
次の収入を得る手段を見つけても、
良いのではないのでしょうか。

年齢とともに、
身体もこころも老いていくことを、
考慮しておいた方が良いでしょう。

「健康寿命」後に困らないために

定年になってから、
または再雇用の期間が過ぎてから
老後の生活のことは考える。

このような方の場合、
生活が成り立つ当てがあればよいのですが、
あれよあれよといっている間に、
歳は経っていくことは往々にあり、
「健康寿命」を迎えた後の生活が心配です。

また、取りあえず勤務していた企業の取引先の
顧問や相談役で、
しばらくの間働く。
という方もいます。

このような方は、
その時は良いかもしれませんが、
ご自身の事業として、

今後も顧問や相談役の業務を生業とするなら、
他社とも契約するなど、
事業を確立しておくことや、

現在の顧問や相談役との契約が切れた時、
次に何をするのか、
また、何もしなくても
収入は年金だけでも老後の生活は成り立つのか、
その確認をしておくことが大切です。

他人の決めた定年にはこだわらない

60歳になる前に、
長年勤めていた会社を退職して、
ご自宅で、しばらくの間、
次の勤務先や起業の準備をしていたとします。

平日の日中に自宅のいるのは世間体が悪い、

と、思うかどうかは、

この先、
何をするのか、
決めているかいないかの違いでしょう。
(もともと、今は、コロナ禍で、
現役の方で在宅勤務をされている方もみえますが)

定年を設けているのは、

勤務先です。

その年齢にこだわることはなく、

ご自身の定年は、
ご自身で決めればよいのです。

■「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

定年は、

ご自身の心身と相談して、

決めるものかもしれません。

健康にも留意していきましょう！

*:

■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール

*:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

■編集後記

60歳で再就職をして、

その就職先も70歳で、
定年で退職して、

その次の再就職先を探している方がいました。

その方は、
生涯働いていたいそうです。

生活に困らないお金は持っていて、

体を動かすことが好き、
頭が衰えないために働く、

といった目的のために働く場合と、

生活費を得るために働く。

この違いは、なぜ生じるのでしょうか？

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで

お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。

ご自身の責任でご判断下さい。
